シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ－F		
必修選択	選択必修	（学則表記）	サロンワークⅡ－F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する		
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる		
評価基準	①授業態度他20％・接客態度他40％・技術レベル30％　　②レポート10％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイル教科全般		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	1年次復習	・様々なシュチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける
2	サロンワーク技術	
3	サロンワーク技術	
4	サロンワーク技術	
5	サロンワーク技術	
6	サロンワーク技術	
7	サロンワーク技術	
8	サロンワーク技術	
9	サロンワーク技術	
10	サロンワーク技術	
11	サロンワーク技術	
12	サロンワーク技術	
13	サロンワーク技術	
14	サロンワーク技術	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	サロンワークⅢ－F		
必修選択	選択必修	（学則表記）	サロンワークⅢ－F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する		
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる		
評価基準	①授業態度他20％・接客態度他40％・技術レベル30％　　②レポート10％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイル教科全般		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	前期振り返り	・様々なシュチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術	
3	サロンワーク技術	
4	サロンワーク技術	
5	サロンワーク技術	
6	サロンワーク技術	
7	サロンワーク技術	
8	サロンワーク技術	
9	サロンワーク技術	
10	サロンワーク技術	
11	サロンワーク技術	
12	サロンワーク技術	
13	サロンワーク技術	
14	サロンワーク技術	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅲ		
必修選択	必修	（学則表記）	就職対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	全学科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社ADE CREATES	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材。		
到達目標	希望の就職先に内定		
評価基準	テスト：10%　提出物・課題：50%　授業態度：40%		
認定条件	出席が総時間数3分の２以上ある者 成績評価が２以上のもの		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	呉屋 倫子（他4名）	実務経験	○
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（８年）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	夢	2年生になって、ここからの目標・学校生活、就職について
2	人間力	人間関係の構築・就職活動（GWの課題）
3	人間力	集団行動の大切さ・就職活動の課題
4	夢	企業研究
5	人間力	プレゼンテーション・グループディスカッション

6	人間力	チームワーク（熱い動画）
7	夢	美容業界リサーチ
8	人間力・夢	就職先リサーチ・ディスカッション
9	人間力	チームワークとやりきる力
10	人間力	行事を通してのクラス、学年の団結の振り返りとこの先へ向けて
11	夢	美容業界の知識を深める
12	夢	若手実業家（動画）
13	夢	企業研究・話す力・聴く力、夏休みの課題について
14	夢	課題のプレゼンテーション
15	人間力	前期の振り返り（目標達成度の確認）

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅳ		
必修選択	必修	（学則表記）	就職対策Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	全学科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社ADE CREATES	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材。		
到達目標	希望の就職先に内定		
評価基準	テスト：10%　提出物・課題：50%　授業態度：40%		
認定条件	出席が総時間数3分の２以上ある者 成績評価が２以上のもの		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	呉屋 倫子（他4名）	実務経験	○
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（８年）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	人間力	オリエンテーション（なりたい自分に向けて） レクレーション
2	人間力	担任の想い
3	夢	一般常識
4	夢	社会人として求められているもの
5	人間力	愛される人材とは

6	人間力	メンタルトレーニング①
7	人間力	メンタルトレーニング②
8	夢	企業研究
9	人間力	感謝の気持ち
10	夢	企業研究
11	夢	CASEスタディ①
12	夢	CASEスタディ②
13	人間力	卒業してからの自分を想像する
14	夢	企業研究の総まとめ
15	夢	2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	着付けⅠ		
必修選択	選択	（学則表記）	着付けⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点））・和装スリップ（下着）・クリップ（2本セット）足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 　・きもの着付け３級（６月強制受験　免許強制） を取得することが出来る。
評価基準	検定試験：４０％　　テスト：３０％　　授業態度：３０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会　きもの着付け資格
関連科目	着付けⅡ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	仲里　千枝子他
実務経験	○
実務内容	きものコンサルタント40年 専門学校非常勤講師10年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方１	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方２	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方３	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方４	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方５	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方６	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方７	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け３級検定（小紋の着付と蝶結び２０分）を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学１	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	小紋と名古屋帯１	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯２	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（仕上げ）と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	着付けⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	着付けⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点））・和装スリップ（下着）・クリップ（2本セット）足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 　・きもの着付け２級（１２月強制受験　免許任意） を取得することが出来る。
評価基準	検定試験：４０％　　テスト：３０％　　授業態度：３０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会　きもの着付け資格
関連科目	着付けⅠ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	仲里　千枝子他
実務経験	○
実務内容	きものコンサルタント40年 専門学校非常勤講師10年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	振袖の着せ方１	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入、 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	振袖の着せ方２	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
3	振袖の着せ方３	ふくら雀の結び方について学び実践する
4	振袖の着せ方４	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
5	振袖の着せ方５	振袖の着付を仕上げる（検定対策）

6	振袖の着せ方６	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
7	振袖の着せ方７	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
8	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
9	検定試験	きもの着付け２級検定試験（振袖にふくら雀３０分）を実施する
10	座学２	着物のTPO（プリント③④）について
11	小紋の着方１	小紋の着方（自装）を学び実践する
12	小紋の着方２	名古屋帯のお太鼓結び（自装の仕上げ）、着物の立居振舞を学び実践する
13	留袖の着せ方１	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
14	留袖の着せ方２	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
15	総合学習	女袴の着せ方と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	ヘアアレンジⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	１年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする		
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する		
評価基準	テスト50％、提出物30％　授業意欲20％		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目	ヘアアレンジⅠⅢ、ブライダルメイクⅠⅡ、アーティストメイクⅠⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	岡本梨花	実務経験	○
実務内容	美容師国家資格取得後、ヘアメイクとして結婚式場に11年勤務。その後フリーランスへ転向		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラー・ヘアアイロンなど)/振り返り
2	テーマに合わせたスタイル①	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(導入・練習)
3	テーマに合わせたスタイル②	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(練習)
4	テーマに合わせたスタイル③	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(テスト・振り返り)
5	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
6	夜会巻①	夜会巻・本夜会(導入・練習)
7	夜会巻②	夜会巻・本夜会(練習)
8	夜会巻③	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
9	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
10	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
14	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅢ		
必修選択	選択	（学則表記）	ヘアアレンジⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	１年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する
評価基準	テスト50％、提出物30％　授業意欲20％
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ヘアアレンジⅠⅡ、ブライダルメイクⅠⅡ、アーティストメイクⅠⅡ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	岡本梨花
実務経験	○
実務内容	美容師国家資格取得後、ヘアメイクとして結婚式場に11年勤務。その後フリーランスへ転向

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	新日本髪①	授業の目的目標、評価基準、授業ルールの再確認 新日本髪(導入・練習)
2	新日本髪②	新日本髪(練習)
3	新日本髪③	新日本髪(テスト・振り返り)
4	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
5	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
6	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
7	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
8	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
9	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
10	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
11	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
12	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
13	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
14	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
必修選択	選択	（学則表記）	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト） 化粧品検定協会テキスト		出版社	ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるよになる
評価基準	テスト30％、検定取得20%、提出物30％　授業意欲20％
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	メイク検定アドヴァンス、日本化粧品検定3級・2級
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅡ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	鮫島唯・田場尊子	実務経験	○
実務内容	美容部員として5年勤務。コスメコンシェルジュインストラクター取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/対策①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
7	アドヴァンス検定対策⑦	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
8	アドヴァンス検定対策⑧	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
9	化粧品検定級対策① 間違いな美容知識をチェック	1年次復習
10	化粧品検定級対策② 皮膚・肌について知ろう	皮膚の構造～皮膚の機能(大項目)
11	化粧品検定級対策③ 肌の手入れと正しい知識	メイクアップの基本テクニック～肌悩みに応じた化粧品の使い方(大項目)
12	化粧品検定級対策④ 肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方～肌悩みに原因とお手入れ(大項目)
13	化粧品検定級対策⑤ 美肌・美ボディ生活を送るには	肌を劣化させるさまざまな要因～美しい肌を作る生活習慣(大項目)
14	化粧品検定級対策⑥ 復習	化粧品検定2級受験に向けての復習
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト） 化粧品検定協会テキスト		出版社	ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるよになる
評価基準	テスト30％、検定取得20%、提出物30％　授業意欲20％
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	メイク検定アドヴァンス
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	鮫島唯
実務経験	○
実務内容	美容部員として5年勤務。コスメコンシェルジュインストラクター取得。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール
2	BCの仕事、百貨店とは・化粧品メーカーの組織・身だしなみについて	意識付け/ハンドデモを入れた一連の接客デモンストレーション ※各校判断で企業とタイアップ
3	製品特徴・アプローチ法	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
4	化粧品と法律（医薬部外品等）、化粧品の定義、成分表示	ナチュラルコスメとオーガニックコスメの違いなども含め興味を持たせる
5	カウンセリングの流れ・ロープレ	カウンセリングの流れを確認
6	接客について、おもてなしの心、クレーム、スキンケア	接客する際の注意点、おもてなしとは、クレームの事例対処 肌の仕組みを学ぶ 、季節ごとの肌変化
7	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代別の肌悩みを知る メイクアップのアドバイスの仕方を学ぶ
8	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
9	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
10	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて①	オンラインで行う際のお客様へ商品のご提案
11	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて②	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)
12	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて③	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)、SNS投稿検証
13	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて④	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 カウンセリングの方法
14	総復習	テスト、振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅠ		
必修選択	選択	（学則表記）	ブライダルメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、 ブライダル雑誌		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出来る様になる
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる
評価基準	テスト50％、提出物30％、授業意欲20％
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	岡本梨花
実務経験	○
実務内容	美容師国家資格取得後、ヘアメイクとして結婚式場に11年勤務。その後フリーランスへ転向

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本知識	授業の目的目標、評価基準、授業ルール ブライダルプランニング、ヘアメイクの仕事、衣装の種類
2	ブライダル概論・基礎知識・コラージュ作成	挙式の種類・挙式と披露宴会場とスタイル・ブライダル用語
3	洋装①	ブライダルメイクの基本(ベースメイク)
4	洋装②	ブライダルメイクの基本(ポイントメイク)
5	洋装③	ブライダルメイクの基本(ドレス別)
6	洋装④	お色直しの方法、ヘア概論
7	洋装⑤	テスト、振り返り
8	ゲストメイク①	ドレス別ヘアメイク
9	ゲストメイク②	お母様　黒留袖メイク
10	和装①	基礎知識(歴史、かつら、専門用語)
11	和装②	白無垢化粧の練習を入れる
12	和装③	色打掛・引き振袖（黒）
13	和装④	白無垢化粧
14	和装⑤	白無垢化粧
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	ブライダルメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、 ブライダル雑誌		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出来る様になる
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる
評価基準	テスト50％、提出物30％、授業意欲20％
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	岡本梨花
実務経験	○
実務内容	美容師国家資格取得後、ヘアメイクとして結婚式場に11年勤務。その後フリーランスへ転向

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	白ドレス～色ドレス～までの流れ	＊ドレス補正ポイントメイキング＆インナーについて(導入、実践)
2	お色直しの基本知識	和装　→洋装　一連の流れの実習　(導入、実践)
3	ゲストヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク　(導入、実践)
4	着物ヘアメイク①	着物スタイル
5	着物ヘアメイク②	理論・着物別・年齢別のメイク
6	成人式ヘアメイク①	理論・着物別・年齢別のメイク 基本知識とテクニック
7	七五三ヘアメイク	七五三の歴史・由来・小物・着物
8	パーティーヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク
9	テスト	テスト、振り返り
10	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
11	卒業制作②	卒業制作(実践)
12	卒業制作③	卒業制作(実践)
13	卒業制作④	卒業制作
14	卒業制作⑤	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	特殊メイクⅠ		
必修選択	選択	（学則表記）	特殊メイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社		

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする		
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる		
評価基準	テスト50％、提出物30％、授業意欲20％		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	若林知美	実務経験	○
実務内容	美容師免許取得後、美容室勤務を得てフリーランスヘアメイクとして活動		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 老人メイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法) 老人メイク導入
2	老人メイク②	老婆のメイクを実践する
3	老人メイク③	老父のメイクを実践する
4	舞台メイク①	舞台メイク導入
5	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する
6	舞台メイク③	舞台の男役メイクを実践する
7	舞台メイク④	テスト
8	ボディアート	ボディアート等の実践
9	キャラクターメイク①	テーマに合わせたメイクを実践する
10	キャラクターメイク②	テーマに合わせたメイクを実践する
11	キャラクターメイク③	テーマに合わせたメイクを実践する
12	キャラクターメイク④	テーマに合わせたメイクを実践する テスト、振り返り
13	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入
14	傷メイク②	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	特殊メイクⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	特殊メイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる
評価基準	テスト50％、提出物30％、授業意欲20％
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	若林知美
実務経験	○
実務内容	美容師免許取得後、美容室勤務を得てフリーランスヘアメイクとして活動

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	アニマルメイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
2	アニマルメイク②	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
3	アニマルメイク③	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
4	アニマルメイク④	デッサンシートの基づいたメイク(テスト、振り返り)
5	日本の伝統メイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
6	日本の伝統メイク②	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
7	日本の伝統メイク③	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
8	ボディーペイント①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
9	ボディーペイント②	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
10	ボディーペイント③	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
11	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
12	卒業制作②	卒業制作(実践)
13	卒業制作③	卒業制作(実践)
14	卒業制作④	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	アーティストメイクⅠ		
必修選択	選択	（学則表記）	アーティストメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト）		出版社		

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする		
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける		
評価基準	テスト50％、提出物30％、授業意欲20％		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目	フォト＆ファッションⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	鮫島唯	実務経験	○
実務内容	美容部員として5年勤務。コスメコンシェルジュインストラクター取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション ベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	ショーメイク①	立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)
4	ショーメイク②	Wラインの使ったメイク(導入、実践)
5	ショーメイク③	グリッター・メイク用品のデコレーション素材の使い方(導入、実践)
6	ショーメイク④	色の発色、グラデーションの見せ方(導入、実践)
7	ショーメイク⑤	テーマに沿った、フルメイク(テスト、振り返り)
8	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(導入、実践) テーマに合わせて行う
9	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(実践) テーマに合わせて行う
10	スチールメイク③	フォトコンで行うメイク制作(テスト) テーマに合わせて行う
11	スチールメイク④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
12	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせて行う
13	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
14	トレンドメイク③	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	アーティストメイクⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	アーティストメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト）		出版社		

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする		
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける		
評価基準	テスト50％、提出物30％、授業意欲20％		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目	フォト＆ファッションⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	鮫島唯・平良尚子	実務経験	○
実務内容	美容部員として5年勤務。コスメコンシェルジュインストラクター取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	メイクの歴史	古代～中世～近代のメイクについて (時代背景や特徴について)
2	年代別のメイク①	年代別　20、30、40
3	年代別のメイク②	年代別　50
4	年代別のメイク③	年代別　60
5	年代別のメイク④	年代別　70、80
6	年代別のメイク⑤	年代別　90、2000
7	年代別のメイク⑥	年代別の技術まとめ フルメイクテスト、振り返り
8	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
9	卒業制作②	卒業制作(実践)
10	卒業制作③	卒業制作(実践)
11	卒業制作④	卒業制作(実践)
12	卒業制作⑤	卒業制作(実践)
13	卒業制作⑥	卒業制作(実践)
14	卒業制作⑦	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	フォト＆ファッションⅠ		
必修選択	選択	（学則表記）	フォト＆ファッションⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、雑誌（VOGUE/MODE ET MODE 等） 共通➡筆記用具・ノート…ファイル		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっての注意点等を理解し、実践力を身につける 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める
到達目標	【フォト】 色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する 【ファッション】 トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る
評価基準	テスト50％、提出物30％、授業意欲20％
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	平良尚子・田場尊子
実務経験	○
実務内容	ウェディングフォト会社　フリーランスフォトグラファー　動画エディター

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポージングについて
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 カメラの構え方やレンズの使い方を知る
4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 露出補正を使いながら意図する明るさで撮る
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化 絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明
6	レフの使い方	室内でレフを使った撮影練習
7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	スチール①	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
10	スチール②	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
11	スチール③	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
12	テスト	作品作りに合わせたテスト、振り返り
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	フォト＆ファッションⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	フォト＆ファッションⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、雑誌（VOGUE/MODE ET MODE 等） 共通➡筆記用具・ノート…ファイル			出版社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっての注意点等を理解し、実践力を身につける 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める
到達目標	【フォト】 色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する 【ファッション】 トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る
評価基準	テスト50％、提出物30％、授業意欲20％
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

担当教員	平良千尋	実務経験	○
実務内容	イメージコンサルタント養成スクール講師歴6年、服育コンサルタント9年 （パーソナルカラー、パーソナルスタイル、ボディーランゲージ、コーチング等の指導）、専門学校非常勤講師7年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がり
2	服の歴史について①	服の成り立ち(古代～中世)
3	服の歴史について②	服の成り立ち(中世～近代)
4	コレクションについて①	コレクション開催4都市について コレクションの歴史
5	コレクションについて②	コレクションブランドについて（シーズンサイクルなど）
6	コレクションについて③	オートクチュール
7	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース・メンズ)
8	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等のまとめテスト
9	トレンドについて①	雑誌、SNSの見方と情報収集
10	トレンドについて②	トレンド研究を行う
11	ファッションデザイナー①	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
12	テスト	テスト
13	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
14	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ－D		
必修選択	選択必修	（学則表記）	サロンワークⅠ－D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学　理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト（サロンマネジメント）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。 ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。
評価基準	①実技試験60％/授業態度・提出物など20％　②レポート２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	大城千恵子　　徳浜より子
実務経験	○
実務内容	AEA認定講師　　AJE認定講師　　実技試験官　　サロン経営

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	サロンマネジメントについて サロンワークの目的・運営方法について
	美容総合授業	目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション、モデル決定 スケジュール立て・デッサンシート作成
2	サロン立ち上げ企画	接客マナーについて サロン作り・メニュー考案(ディスカッション等)、広報ツール作成
	美容総合授業	構成シート作成・ドレス決定・演出決め・ＢＧＭシート作成・デッサンシート完成
3	サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
	美容総合授業	ＢＧＭ・映像・ヘアメイク練習
4	サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
	美容総合授業	ＢＧＭ・映像・ヘアメイク練習
5	サロン衛生管理	衛生学　消毒の実践
	美容総合授業	ＢＧＭ・映像・ヘアメイク練習
6	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	モデルウォーキング・各セクション、動きの確認
7	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
8	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
9	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
10	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
11	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
12	リハーサル	ボディ・フェイシャル
13	プレオープン	ボディ・フェイシャル　※プレオープンのため無料施術
14	振返り	フィードバックからの学び
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ－D		
必修選択	選択必修	（学則表記）	サロンワークⅡ－D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学　理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト（サロンマネジメント）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。		
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。		
評価基準	実技試験60％/授業態度・提出物など20％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	下町さおり　　内間千佳	実務経験	○
実務内容	AJE認定講師　　実技試験官　　サロン経営　　エステコンテスト審査員		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション・前期の復習・サロンワーク準備
2	サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9	サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ－E		
必修選択	選択必修	（学則表記）	サロンワークⅠ－E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	必要に応じたヘアメイク道具一式、筆記用具類		出版社		

科目の基礎情報②			
授業のねらい	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う		
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付ける コミュニケーション力を身に付ける		
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50％、提出物30％、授業意欲20％		
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	福澤千津子	実務経験	○
実務内容	美容部員として5年勤務後、フリーランスでブライダルヘアメイクアップアーティストとして活動中		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	・様々なシュチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける
2	1年次復習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ－E		
必修選択	選択必修	（学則表記）	サロンワークⅡ－E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	必要に応じたヘアメイク道具一式、筆記用具類		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付ける コミュニケーション力を身に付ける
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50％、提出物30％、授業意欲20％
認定条件	出席が総時間数の３分の２以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠⅡ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	福澤千津子　　実務経験　○
実務内容	美容部員として5年勤務後、フリーランスでブライダルヘアメイクアップアーティストとして活動中

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	サロンワーク技術練習	・様々なシュチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術練習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	エステティックカウンセリングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ／AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準
評価基準	筆記試験40％・コンサルテーション40％・授業態度、提出物など20％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロボディⅡ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティック総論Ⅱ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	徳浜より子
実務経験	○
実務内容	サロン経営　AJE認定講師　実技試験官

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年生振り返り
2	コンサルテーションシートの記入について(ボディ)	コンサルテーションシートの記入方法について（ボディ）
3	コンサルテーションシートの記入について(フェイシャル)	コンサルテーションシートの記入方法について（フェイシャル）
4	体のバランスと肥満	姿勢の判断やその特徴・体系タイプについて 内臓脂肪型と皮下脂肪型
5	女性ホルモンとストレスと睡眠 セルライトと水分滞留	内分泌系の関わりとストレスと睡眠 セルライトの段階　水分滞留の判定　成績評価①
6	ホームケアアドバイス ボディ	運動学・栄養学・食事指導
7	ホームケアアドバイス フェイシャル	運動学・栄養学・食事指導
8	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
9	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
10	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
11	コンサルテーションシートの フェイシャル記入について	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる
12	口頭試問対策	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる　成績評価②
13	コンサルテーションシートの ボディ記入について	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる
14	口頭試問対策	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる　成績評価③
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ		
必修選択	選択	（学則表記）	エステティックカウンセリングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ／AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。
到達目標	AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準
評価基準	筆記試験40％・コンサルテーション40％・授業態度、提出物など20％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロボディⅡ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティック総論Ⅱ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	内間千佳
実務経験	○
実務内容	サロン経営　AJE認定講師　実技試験官

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	AJESTHE上級試験筆記範囲　コンサルテーション 口頭試問　成績評価④
2	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
3	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
4	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
5	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
6	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
7	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
8	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
9	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	AJESTHE上級試験筆記範囲　コンサルテーション 口頭試問　成績評価④
10	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
11	筆記試験	成績評価⑤　筆記試験模試
12	AJESTHE上級実技口頭試問対策 実技試験範囲	AJESTHE上級試験範囲 コンサルテーション 口頭試問 実技試験範囲　補填
13		
14		
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学　新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー　クリエーヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソテラピー・ストーンセラピー
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	下町さおり　　仲与志奈津子
実務経験	○
実務内容	AJE認定講師　　実技試験官　　サロン経営　　エステコンテスト審査員　　鍼灸師

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	サロントリートメント オリエンテーション	担当教員自己紹介・授業の方向付け、年間の学習内容と履修目標と前期成績評価
2 3	ハイドロテラピー タラソテラピー	理論/タラソテラピーとは歴史・効果・注意・禁忌事項・応用 タラソパック　デモンストレーション・実技演習 ソルトピーリング/海泥パック/海藻パックなど
4 5	リンパドレナージュ	理論　リンパドレナージュとは（歴史・効果）/リンパ液・リンパ節について 理論　リンパドレナージュ/注意・禁忌事項など基本手技/下肢後面・腰背部
6	総合まとめ	成績評価①　筆記テスト（タラソテラピー、リンパドレナージュ）
7 8 9	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明　・実技試験の流れで練習
10	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入
11 12 13	スウェディッシュマッサージ練習	オリジナル・スウェディッシュマッサージ練習
14	実技テスト	成績評価②実技テスト（スウェディッシュマッサージ）
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学　新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー　クリエーヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソテラピー・ストーンセラピー
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	下町さおり　　徳浜より子
実務経験	○
実務内容	AJE認定講師　　実技試験官　　サロン経営　　エステコンテスト審査員

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション ペデュキュア	オリエンテーション ペディキュア　デモンストレーション・練習
2	ペディキュア	ペディキュア練習
3		
4		
5	東洋医学カッピング リフレクソロジー ポドロジー	理論/東洋医学（西洋医学との違い・経絡・経穴） 基本手技/カッピング
6		理論/リフレクソロジー ・ポドロジー 基本手技/東洋式・西洋式
7	ストーンセラピー	理論/ストーンセラピー 基本手技/ストーンセラピー
8		
9	代替療法 アーユルヴェーダー	インド伝統医学の考え方と療法（理論） アーユルヴェーダーマッサージ（実技）
10		
11	AJESTE上級 エステティシャン試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明　・実技試験の流れで練習
12		
13		
14	トリートメント総合	トリートメント総合　成績評価④筆記テスト（リフレクソロジー、ストーンセラピー、アーユルヴェーダー）
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	プロボディⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	プロボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学　技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエーヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準
評価基準	実技試験60％/小テスト20％/授業態度・提出物など20％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

担当教員	下町さおり　　内間千佳	実務経験	○
実務内容	AJE認定講師　　実技試験官　　サロン経営　　エステコンテスト審査員		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業内容の説明、履修目標について解説 ボディ用化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の導入（目的、効果、成分、使用法等） １年次の復習（ボディチェック+マッサージ）
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング・採寸 AEAコンサルテーションシートの記入方法について
3	ボディ電気機器 交流電流	低周波 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
4		
5		
6	ボディ電気機器 サクション	サクション 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
7		
8	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明　・実技試験の流れで練習 成績評価①　模擬試験
9		
10		
11	ボディ電気機器 G5	G５ 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
12		
13	ボディ機器総合	ボディ機器　総合復習
14		ボディ機器　総合復習 成績評価②　機器総合
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	プロボディⅢ		
必修選択	選択	（学則表記）	プロボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学　技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエーヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準
評価基準	実技試験60％/小テスト20％/授業態度・提出物など20％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

担当教員	徳浜より子　　仲与志奈津子	実務経験	○
実務内容	AJE認定講師　　実技試験官　　サロン経営　　鍼灸師		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 脱毛理論	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果/成分/注意事項・禁忌事項 デモンストレーション
2	脱毛　Wax (Warm)	ワックス実技演習　(腕・足) 成績評価①　脱毛試験
3		
4		
5	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
6	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択　ボディマッサージ アフターカウンセリング　　…　一連の流れで練習 wax脱毛 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
7		
8		
9		
10	AJESTE上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明　・実技試験の流れで練習 脱毛含む 成績評価②　模擬試験
11		
12		
13		
14	ボディテクニック総合	ボディテクニック総合　復習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅡ-B		
必修選択	選択	（学則表記）	プロフェイシャルⅡ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	90
使用教材	新エステティック学　技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエーヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得する。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準
評価基準	実技試験60％/小テスト20％/授業態度・提出物など20％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・6コマを３コマずつに分けてカリキュラムを週2回実施
担当教員	下町さおり　　内間千佳
実務経験	○
実務内容	AJE認定講師　　実技試験官　　サロン経営　　エステコンテスト審査員

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業の説明、履修目標について解説 1年次振り返り　接客の基礎実践　ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 （目的、効果、成分、使用法等）
3	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明　・実技試験の流れで練習
4		
5		
6	AEA模擬試験	成績評価①
7	フェイシャル電気機器 直流電流	イオントフォレーゼ・ディスインクラスステーション 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 （総論→電気学　ボディ→ガルバニック）
8		
9	フェイシャル電気機器 サクション	パター 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 （総論→解剖生理学　ボディ→サクション）
10		
11	フェイシャル電気機器 高周波	高周波（直接法・間接法・閃光法） 実技理論・デモンストレーション含む
12		
13	フェイシャル総合授業	成績評価②
14	オリジナルマッサージ スウェディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモストレーション・実践
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅢ- B		
必修選択	選択	（学則表記）	プロフェイシャルⅢ- B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	90
使用教材	新エステティック学　技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエーヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準
評価基準	実技試験60％/小テスト20％/授業態度・提出物など20％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・6コマを３コマずつに分けてカリキュラムを週2回実施
担当教員	下町さおり　　内間千佳
実務経験	○
実務内容	AJE認定講師　　実技試験官　　サロン経営　　エステコンテスト審査員

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	肌別・トラブル別の選択 皮膚生理学・香粧品学・機器	【3コマ】カウンセリングシート作成　選択理由・目的・効果 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
2		【3コマ】口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
3	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス　理論的解説・小テスト
4	オリジナルマッサージ スウェデッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモンストレーション・実践
5		
6	AJESTHE上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明　・実技試験の流れで練習
7		
8		
9	模擬試験	成績評価③
10	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析）
11		ディープクレンジング・電気トリートメント
12		マッサージ・マスク・仕上げ・メイク・ネイル
13		アフターカウンセリング
14	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習　成績評価④
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅰ - B		
必修選択	選択	（学則表記）	エステティック総論Ⅰ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ／AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準
評価基準	筆記試験60％/小テスト・ケースワーク20％/授業態度、提出物など20％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロフェイシャルⅡ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	大城千恵子
実務経験	○
実務内容	AEA認定講師　AJE認定講師　実技試験官

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 救急法	・救急法の基礎知識・一次救命処置・主な症状の救急手当・主な事故の手当て
2	電気理論	・電気が生じるしくみ ・化学結合の種類　・電気の基礎知識
3	人体と電気 エステティック機器の種類と原理	・体の中の電気のしくみ ・エステティックにおける生体電気の利用
4	皮膚の構造・生理機能	皮膚の構造と生理機能
5	トラブル肌と皮膚疾患	・接触性皮膚炎・アレルギー性疾患 ・アトピー性皮膚炎　・その他の主な皮膚疾患　　成績評価①
6	トラブル肌と皮膚疾患 筆記試験	
7	人体のあらまし細胞・組織・器官	・人体のあらまし　・人体の成り立ち
8		
9	人体の器官系感覚器系・消化器系	感覚器（感覚器のあらまし・各感覚器の構造と働き） 消化器系（消化器系のあらまし・各消化器官のの構造と働き）
10		
11	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	・化粧品と医薬品医療機器等法　・化粧品の品質と品質特性　・化粧品の分類と特徴
12	AEA上級認定E 演習問題	AEA問題集の解説を行いながら検定対策をする
13		
14	筆記試験	模擬試験　成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅱ - B		
必修選択	選択	（学則表記）	エステティック総論Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ－Ⅲ／AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準
評価基準	筆記試験60％/小テスト・ケースワーク20％/授業態度、提出物など20％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロフェイシャルⅡ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	仲与志奈津子
実務経験	○
実務内容	サロン経営　　講師歴１３年　　鍼灸師

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	前期の振り返り	前期の振り返り
2	脱毛学 ※プロボディⅡにて実技導入	・毛髪学概論・毛と毛包の構造
3		・発毛のしくみと毛周期 ・美容脱毛技術者として知っておきたい病気
4	認定上級E筆記対策 1年・２年次の不足の補填	検定対策テキストの内容を実施・小テスト
5		
6		
7		
8		
9	筆記試験	成績評価③　AJESTHE上級　模試
10	認定上級E 実技対策	AJESTHE上級試験範囲 コンサルテーション 口頭試問 実技試験対策 成績評価④　ケースワーク
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	（学則表記）	検定対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる		
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得		
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ・検定対策＆スカルプチュアⅠ／Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入　1年次の復習	1年間の授業の流れ 1年次のジェルネイルの復讐
2	JNEC２級検定の振り返り ジェル中級対策①	JNEC２級の振返り　ジェル中級に向けて実技練習
3	ジェル中級対策②	ジェル中級に向けて実技練習
4	ジェル中級対策③	ジェル中級に向けて実技練習
5	ジェル中級対策④	ジェル中級に向けて実技練習
6	ジェル中級対策⑤	ジェル中級に向けて実技練習
7	JNEC１級対策①　または ジェル中級対策⑥	JNEC１級検定のセッティング及び流れを覚える
8	JNEC１級対策②	JNEC１級検定のセッティング及び流れを覚える
9	JNEC１級筆記模擬試験･対策	１級試験　筆記試験対策
10	JNEC１級対策③	JNEC１級検定に向けての実技練習　タイムトライアル
11	JNEC１級対策④	JNEC１級検定に向けての実技練習　タイムトライアル
12	JNEC１級対策⑤	JNEC１級検定に向けての実技練習　タイムトライアル
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト　実技対策	筆記テスト　実技対策
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅲ		
必修選択	選択	（学則表記）	検定対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる		
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得		
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ ・検定対策Ⅱ／Ⅲ・検定対策＆スカルプチュアⅠ／Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	JNEC１級対策①	JNEC１級検定に向けての実技練習　タイムトライアル
2	JNEC１級対策②	JNEC１級検定に向けての実技練習　タイムトライアル
3	ジェル上級対策①	ジェル上級検定について 説明と実技練習
4	ジェル上級対策②	ジェル上級に向けて実技練習
5	ジェル上級対策③	ジェル上級に向けて実技練習
6	ジェル上級対策④	ジェル上級に向けて実技練習
7	ジェル上級対策⑤	ジェル上級に向けて実技練習
8	ジェル上級対策⑥	ジェル上級に向けて実技練習
9	ジェル上級対策⑦	ジェル上級に向けて実技練習
10	ジェル上級対策⑧	ジェル上級に向けて実技練習
11	ジェル上級対策⑨	ジェル上級に向けて実技練習
12	実技練習	振り返りの実施
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト 実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	検定対策＆スカルプチュアⅠ		
必修選択	選択	（学則表記）	検定対策＆スカルプチュアⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、 サロンで通用するスカルプチュア技術を習得する		
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得		
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入　1年次の復習 １級実技説明	1年間の授業の流れ 1年次及びJNEC２級の復習をしJNEC1級に向けて実技練習
2	JNEC１級対策①	1級検定のセッティング及び流れを覚える
3	JNEC１級対策②	1級検定のセッティング及び流れを覚える
4	JNEC１級対策③	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする
5	JNEC１級対策④	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする
6	JNEC１級対策⑤	JNEC１級検定に向けての実技練習
7	JNEC１級対策⑥	JNEC１級検定に向けての実技練習
8	JNEC１級対策⑦ 筆記テスト	JNEC１級検定に向けての実技練習　筆記テスト
9	JNEC１級対策⑧	JNEC１級検定に向けての実技練習　タイムトライアル
10	JNEC１級対策⑨	JNEC１級検定に向けての実技練習　タイムトライアル
11	JNEC１級対策⑩	JNEC１級検定に向けての実技練習　タイムトライアル
12	JNEC１級対策⑪	JNEC１級検定に向けての実技練習　タイムトライアル
13	実技テスト	実技テスト
14	実技テスト	実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	検定対策＆スカルプチュアⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	検定対策＆スカルプチュアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、 サロンで通用するスカルプチュア技術を習得する		
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得		
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	JNEC１級検定内容確認 （筆記・実技）	１級検定について注意事項説明・筆記対策と実技練習
2	JNEC１級対策①	JNEC１級検定に向けての実技練習　タイムトライアル
3	JNEC１級対策②	JNEC１級検定に向けての実技練習　タイムトライアル
4	スカルプチュア①	クリアスカルプチュア　実技10本
5	スカルプチュア②	グラデーションスカルプチュア　実技10本
6	スカルプチュア③	グラデーションスカルプチュア　実技10本
7	スカルプチュア④	フレンチスカルプチュア　デモ・実技
8	スカルプチュア⑤	フレンチスカルプチュア　実技
9	スカルプチュア⑥	フレンチスカルプチュア　実技 バーチャルフレンチスカルプチュア　デモ
10	スカルプチュア⑦	スピードスカルプチュア　相モデルで１０本　ナチュラル使用
11	スカルプチュア⑧	スピードスカルプチュア　相モデルで１０本　ナチュラル使用
12	スカルプチュア⑨	ジェルを載せるときのサロンでの長さだしの練習
13	筆記試験 実技試験	筆記試験　実技試験
14	実技試験	実技試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	ジェルネイルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる		
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ジェル検定上級まで取得		
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入・教材確認 ジェルデザイン実技①	教材説明・グラデーション・フレンチのデザインを学ぶ
2	ジェルデザイン実技②	シールを埋めるやり方・ラインテープの貼り方・タテグラデ・逆フレンチなど様々なデザインを学ぶ
3	スカルプ(クリア)デモ・実技	ジェルスカルプ(クリア)デモ・実技
4	マシーンオフ・プレパ	マシーンオフとプレパレーション実技
5	マシーンオフ＋フィルイン＋フィルインベースのせ	マシーンオフ＋フィルイン＋フィルインベースのせ実技
6	中級検定実技①	中級検定内容を学び技術をマスターする
7	中級検定実技②	中級検定内容を学び技術をマスターする
8	中級検定実技③	中級検定内容を学び技術をマスターする
9	ジェル上級説明、チップオーバーレイデモ実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
10	ジェルチップオーバーレイ 実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
11	ジェルアート実技①	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
12	ジェルアート実技②	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト・実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅢ		
必修選択	選択	（学則表記）	ジェルネイルⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる		
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ジェル検定上級まで取得		
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイルケアⅡ・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ジェルスカルプ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプ実技
2	ジェルスカルプ・チップオーバーレイ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプとジェルチップオーバーレイ実技
3	ジェルスカルプ 実技(相モデル)	ジェルスカルプ実技(相モデル)
4	上級検定実技①	ジェルネイル検定上級実技
5	上級検定実技②	ジェルネイル検定上級実技
6	上級検定実技③	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル
7	上級検定実技④	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル
8	デザインジェル・実技①	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
9	デザインジェル・実技②	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
10	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン①	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
11	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン②	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
12	ジェル実技(10本)相モデル①	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
13	ジェル実技(10本)相モデル② 筆記テスト	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
14	後期実技試験 （上級検定内容）	総復習として実技試験を行なう
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	コンテストⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	コンテストⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ 維持することを実践できる		
到達目標	コンテスト入賞		
評価基準	授業態度20％・実技テスト80％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	コンテスト予定確認 モデル選びについて	今後のコンテスト予定を確認し目標を立てさせ技術向上を意識付けする　モデル選びの重要性、サロンワークや検定とのコンテストの違いを理解する
2	ケア・カラー①	ジュニア・スチューデントケアの練習
3	ケア・カラー②	ジュニア・スチューデントケアの練習
4	ケア・カラー③	ジュニア・スチューデントケアの練習
5	ケア・カラー④　実技テスト	ジュニア・スチューデントケア　実技テスト
6	アート①	チップ作成によるアート
7	アート②	チップ作成によるアート
8	アート④	チップ作成によるアート
9	アート④　作品提出	チップ作成によるアート　作品提出
10	スカルプチュア①	ジュニア部門のスカルプ　ナチュラルスカルプ練習
11	スカルプチュア②	ジュニア部門のスカルプ　ナチュラルスカルプ練習
12	スカルプチュア③	ジュニア部門のスカルプ　ナチュラルスカルプ練習
13	スカルプチュア④	ジュニア部門のスカルプ　ナチュラルスカルプ練習
14	スカルプチュア④　実技テスト	ジュニア部門のスカルプ　ナチュラルスカルプ　実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	コンテストⅢ		
必修選択	選択	（学則表記）	コンテストⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ 維持することを実践できる		
到達目標	コンテスト入賞		
評価基準	授業態度20％・実技テスト80％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ケア・カラー①	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
2	ケア・カラー②	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
3	ケア・カラー③　実技テスト	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技テスト
4	ジェル①	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
5	ジェル②	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
6	ジェル③	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
7	ジェル④　実技テスト	ジェル部門実技テスト、または作品提出
8	アート①	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
9	アート②	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
10	アート③　作品提出	アート部門実技作品提出
11	スカルプチュア①	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
12	スカルプチュア②	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
13	スカルプチュア③	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
14	スカルプチュア④　実技テスト	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	ネイルケアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、 更なる技術向上を目指し実践する		
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る		
評価基準	授業態度他20％・筆記テスト40％・実技テスト40％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイル教科全般		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	1年次復習	これまでの振返りと２級検定振返り
2	ハンドケア トリートメント理論	マシーンを使用してのケア方法とトリートメントについて学ぶ
3	フットケア①	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
4	フットケア②	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
5	フットケア③	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
6	フットケア④	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
7	ハンドケア⑤	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
8	ハンドケア⑥	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー
9	ケア、カラー	ラウンドの練習　色々なカラーリングの練習
10	ハンドケア（マシーン） カラー①	ネイルマシーンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
11	ハンドケア（マシーン） カラー②	ネイルマシーンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
12	実技テスト	実技テスト　ハンドケア・マシーン
13	実技テスト	実技テスト　ハンドケア・マシーン
14	筆記テスト	筆記テスト　ケア・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅢ		
必修選択	選択	（学則表記）	ネイルケアⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、 更なる技術向上を目指し実践する		
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る		
評価基準	授業態度他20％・筆記テスト40％・実技テスト40％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイル教科全般		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ケア、カラー①	マシーンでのケアと色々なカラーを練習　様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
2	ケア、カラー②	マシーンでのケアと色々なカラーを練習　様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
3	ケア、カラー③	マシーンでのケアと色々なカラーを練習　様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
4	フットケア・トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア（メタルプッシャー）を学ぶ
5	フットケア・トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア（メタルプッシャー）を学ぶ
6	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
7	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
8	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル③	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
9	フットケア（マシーン） トリートメント・ジェル④	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
10	フットケア（マシーン） マシーンオフ①	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシーンオフ
11	フットケア（マシーン） マシーンオフ②	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシーンオフ
12	実技試験①	実技試験　フットケア・トリートメント・ジェル
13	実技試験②	実技試験　フットケア・トリートメント・ジェル
14	筆記テスト	筆記テスト　ハンドケア(マシーン)・トリートメント・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅡ		
必修選択	選択	（学則表記）	ネイルアートⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから３Ｄアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する		
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる		
評価基準	作品提出90％・授業態度他10％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイル教科全般		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入　作品紹介　２級検定実技	1年間の授業の流れ作品紹介　コンテスト作品を仕上げるコツ等を学ぶ 2級アート実技練習
2	エンボスアート基礎	エンボスアート基礎　ミクスチュアの取り方、ハートなど
3	エンボスアート①	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
4	エンボスアート②	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
5	３Ｄアート基礎	３Ｄの基本的な花やモチーフの実技
6	３Ｄアート応用	３Ｄアート応用の花やモチーフの実技
7	３Ｄアート（検定用）	検定用３Ｄアートに実技
8	エアーブラシ基礎	ライン・ドット等シート練習　組立・掃除等のメンテナンスを覚える
9	エアーブラシ応用①	ライン・ドット・ステンシールなどを使用したシート練習
10	エアーブラシ応用②	ライン・ドット・ステンシールなどを使用したシート練習
11	ミックスメディアアート①	フラット・エンボス・３Ｄの技法を取り入れたアート作品を作る
12	ミックスメディアアート②	フラット・エンボス・３Ｄの技法を取り入れたアート作品を作る　作品提出
13	検定用アート①	１級検定アートのタイムトライアル
14	検定用アート②	１級検定アートのタイムトライアル　作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅢ		
必修選択	選択	（学則表記）	ネイルアートⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから３Ｄアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する		
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる		
評価基準	作品提出90％・授業態度他10％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイル教科全般		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロン勤務歴15年。ネイルサロンオーナー歴10年。 ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	検定用アート①	１級検定アートの実技
2	検定用アート③ タイムトライアル	１級検定アートのタイムトライアル
3	検定用アート② タイムトライアル	１級検定アートのタイムトライアル　作品提出
4	デザインスカルプチュア① デモ・実技	デザインスカルプチュアを学び習得する
5	デザインスカルプチュア②	デザインスカルプチュアを学び習得する
6	トレンドアート①	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
7	トレンドアート②	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
8	作品制作①	テーマと技法(エアー・フラットなど）を決めて作品を制作する
9	作品制作②	テーマと技法(エアー・フラットなど）を決めて作品を制作する　 作品提出
10	タイムトライアル	サロンワークに対応するアートのタイムトライアル
11	卒業制作①	２年間の総復習
12	卒業制作②	２年間の総復習
13	卒業制作③	２年間の総復習
14	卒業制作④	２年間の総復習　作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅰ		
必修選択	選択	（学則表記）	インターンシップⅡ－Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科 エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社		

科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける		
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる		
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)		
認定条件	・実質時間数が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	前川和也他４名	実務経験	○
実務内容	美容室勤務 専門学校教員勤務		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅰ		
必修選択	選択	（学則表記）	インターンシップⅢ－Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科 エステティック科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社		

科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける		
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる		
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)		
認定条件	・実質時間数が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	前川和也他４名	実務経験	○
実務内容	美容室勤務 専門学校教員勤務		